

桜井辰雄先生選評



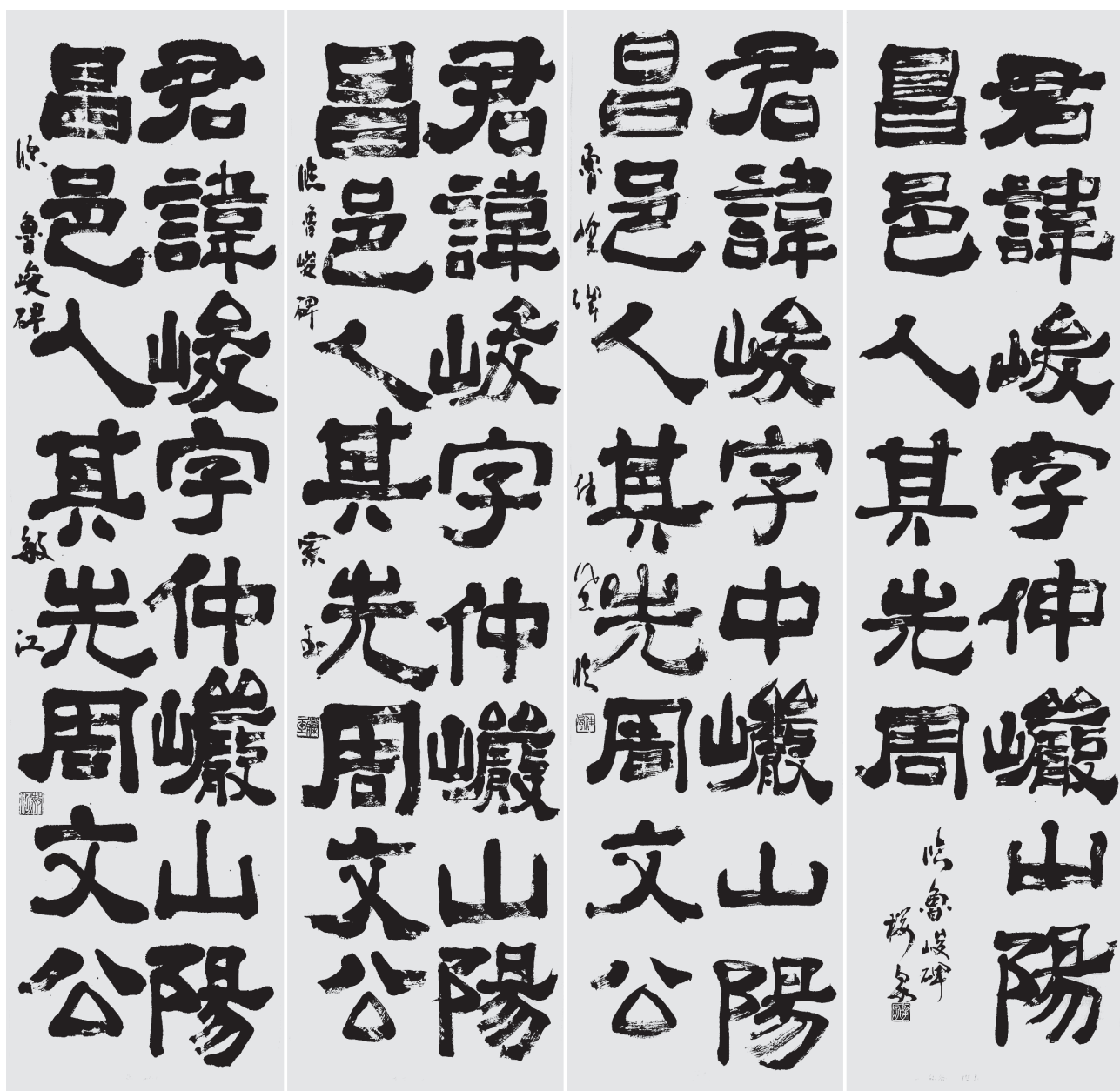
阪井浩子 推選
潤筆も渴筆も主張しすぎず、太細の変化も少ないながら躍動感のある運筆が静寂の中に生命を吹き込んでいます。静閑とした床の間に設えられた一行書を拝見する如く。

山下翠園 推選
紙面を付かず離れず、軽重を織り交ぜながらリズムカルに上下運動させる筆捌きに感服。リズムは時として字形の類似や懐の狭い文字を出現させてしまいがち。

荒木幸園 推選
柔らかさのある筆に最適な濃度の墨をまとわせ、穂先(命毛)、喉、腹を堪能に操っている。浮沈や強弱を巧みに加え、粘りのある表情豊かな作品に仕上げている。

坂本千陽 推選
観る者の眼を驚掴みにしてしまふ《映える》作品制作の巧者なのだろう。さり気なく、文字の正面を微妙に外して、うねり、までも演出する力量には脱帽。

江幡太瓏先生選評



※(太瓏) 審査がひとしきり終わり誤字チェックの時に何とトップ一、二位の作が、六字目の山偏が抜けていました。チェックして良かったと安堵の気持ちと出品者も再度ご確認頂きたいです。

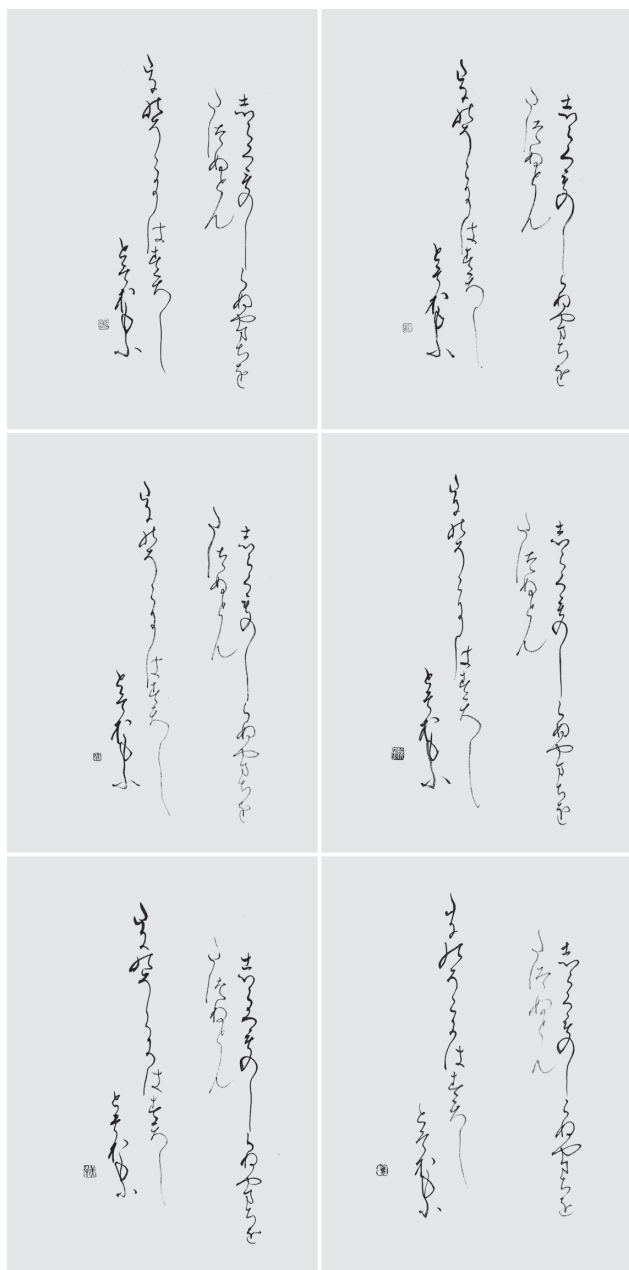
熊谷 櫻 泉 推選
藏鋒の起筆、波磔に強弱、太細あり気負わず焦らず引いている線が明るく、字間も丁度良くすっきりしています。落款の配置も程良くお洒落です。

下村 佳 風 推選
貴方も線の太さ、字間丁度良く、白の美しい作品になりました。「昌・先」などの息の長い素敵な渴筆が目を引きました。波磔も嫌味がなくていいですね。

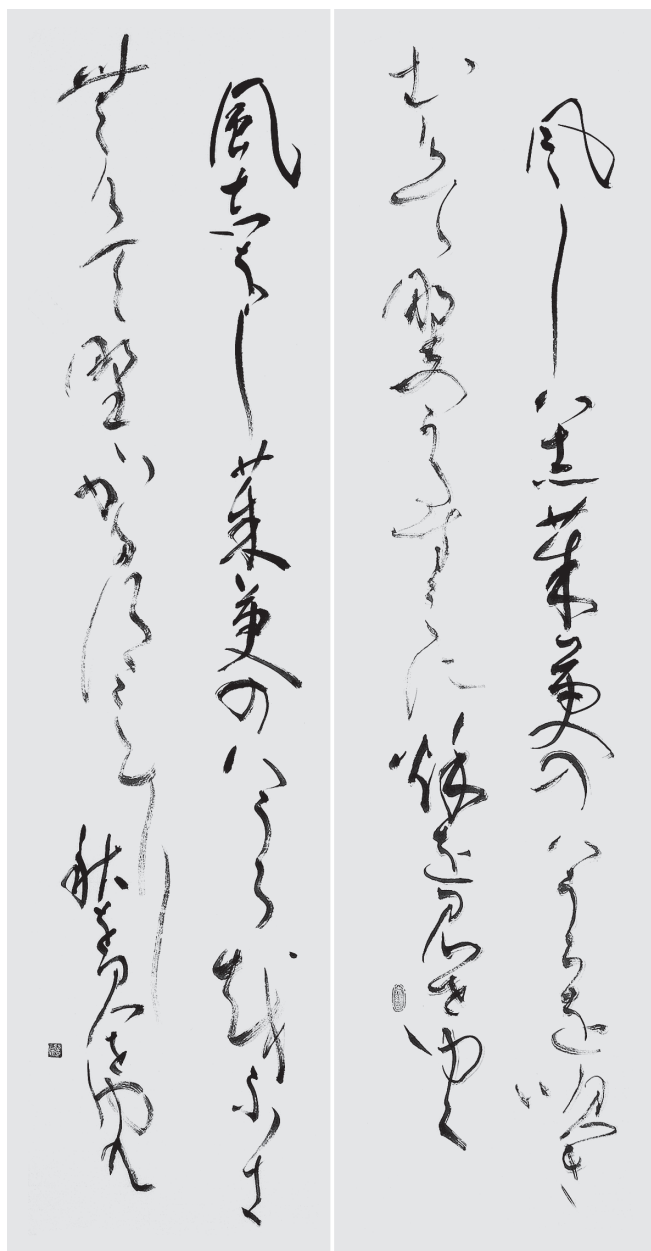
藤原 宗 玉 推選
羊毛を駆使し生き生きとした見事な線で書き切りました。原帖を見るとやや大きいのかもしれませんが、潤渴も良く若々しさを感じる作品です。

佐藤 敏 江 推選
多墨でやや大きいですが、勢いと重量感があり若々しさを買いました。これで四ヶ所程渴筆を入れれば明るさが出て更に魅力的な作となりました。「公」なくても良かったです。

吉澤真理先生選評



赤富士北祭先生選評



鈴木春蘭 八段
ピンと張りのある書線は清澄で凛とした気品を漂わせています。迷いのない運筆は自然で美しい墨色を生みました。

下村佳風 七段
大らかな線質で自然な流れ。優しくさらりと書かれています。あと少し濃墨にされると潤いの変化が際立ち深みが増します。

東谷美子 五段
原帖のメリハリの効いたリズムをよく捉え、上下運動の変化にも心入れがあります。所々側筆きみな部分が気になります。

川畑彩春 師範
浮沈の効いた大きな動きが躍動感に溢れ、見ごたえがあります。紙に食い込む引き締まった書線で織りなす行の響き合いも心地良い。

宮内悦子 師範
しなやかで優しい表情の安定感ある作。変化のある流麗な連綿線に作者の力量が感じられる魅力的です。

清水千寿 準師
素直なリズムとゆったりとしたまろやかな書線に魅了されます。一行目と四行目が同じ位置で終ってしまっただのが惜しまれる。

池澤礼子 推選
この作は、長年学んできたリズムを基盤に独自性を表現した見事な作。おらかな空気を孕みながら伸びやかな線で書かれており、終句も墨が生き生きしている。

関口奈緒乃 推選
かな条幅の定石を大切にしながら場面の变化を取り入れた見事な作。軽い書き出しから筆の開閉自在に情感を表現し、終句に見せる余裕の筆さばきも圧巻である。



映咲師範

ゆつたりとした、
ゆとりのある運筆
で、品格のある穏
やかな筆致です。
黒と白の調和も良
く、落款迄章法が
素晴らしいです。

猪爪幸子 師範

結構も整齊で、逞しさをを見せています。運筆も暢びのある波法、力のもった乙脚、迫力のある造形に魅せられました。

國則知子準師

運腕大きく、伸びやかに書かれています。ゆつたりとした用筆は余裕があり、明るく清らかな風を保っています。力強い。お見事です。

元山邇光 八段

引き締まった結構は、適度な緊張感のある形体で、骨力のある書を形成していて、観る者に安心感を与える秀作です。全体のバランスも優。

木村秀栖 準七

潤渇の変化が自然で、線質が豊か。風韻のある心の安らぎを感じる逸品です。伊闕佛龕碑の特徴を良く捉えていますね。感心致しました。

齊藤直子 四段

横画、左払いの波法の力の充実振りをみると、実力の程が窺えます。全体の章法も良く、明るい素敵な作品になりました。今後への期待大。

太田遥香 師範

肉厚で力強く、強
靱な線質が灌頂記
の特徴を良く捉え
ていて、迫力があ
ります。小書きも
丁寧な書かれてい
ます。

伊藤泰光 師範

太細、潤渴の変化が上手く、筆意も豊かで落ち着きのある形体です。落款に到る迄、全体の配置が秀でています。

林溪舟 準師

空海の持つ気宇の雄大さがあり、小書きも力まず自然で、優れた臨書です。伸びやかな運筆が明るく、心地好い秀作です。

三井島茜舟 七段

ゆつくりとした用筆に、深みのある線質。めりはりのある筆意にふところが広く、明るい形体になりました。小書きのバランスも良いです。

富永晃子 準七

雄大で、ふところの広い迫力のある造形。伸びやかな強い線質、表現力に心がうたれました。小書き、落款も達筆ですね。

坂本友美 準五

原帖を良く見て書作しています。運腕大きく、落筆高く、力強い筆致は空海の雄大な気分を良く捉えています。流石です。